

陸上競技部

I 本年度の目標

- 1 周囲から応援されるチーム作り
- 2 “いつも通り”でしか行動できないのではなく、一人ひとりが考え、臨機応変に行動できる生徒の育成

II 本年度の取り組み（課題）

- 1 ひとりひとりの自己記録の更新【2-（3）】
- 2 TPOに応じた練習の工夫【2-（3）】
- 3 気づきの心をもった、率先した挨拶、行動【1-（1）】
- 4 学校諸行事の際の裏方仕事での貢献【2-（1）】
- 5 部内での学年の区別ない仕事の励行【1-（3）】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	TPOに応じた練習の工夫	練習環境を考慮した判断による練習の実施	ミーティングや毎日の振り返り 顧問からの指摘
	自己記録の更新	毎日の継続したトレーニング	試合結果とトレーニングの振り返り
視野の広さ	TPOに応じた練習の工夫	練習環境を考慮した判断による練習の実施	ミーティングや毎日の振り返り 顧問からの指摘
	気づきの心をもった率先した挨拶	周りに気を配り相手より先に挨拶を行う	ミーティングや毎日の振り返り

水泳部

I 本年度の目標

1. 心身ともにたくましい選手の育成
2. 活動を通じた自主性・社会性の伸長
 - (1) 明るい挨拶を励行し、良好な人間関係を自ら構築できる生徒を育てる【1-(1)】
 - (2) HRや行事など、学校生活の中でリーダーシップを発揮する【1-(3)】
 - (3) 部室・器具庫、トイレの清掃をこまめに行い、整理整頓を徹底する【1-(2)】
 - (4) 全員での東海大会出場、インターハイへの出場 【2-(3)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・明るい挨拶を励行し、良好な人間関係を自ら構築できる生徒を育てる	・練習の始め、終わりに丁寧な挨拶をし、日常でも同様にできるよう指導していく	・大会時の競技役員、他校の先生から聞き取り
視野の広さ	・HRや行事など、学校生活の中でリーダーシップを発揮する	・与えられた仕事以外に活躍できたこと、どの程度積極的に取り組んだかを報告する	・ミーティング等での内容を聞き、評価の参考とする

野球部

I 本年度の目標

1. 「自分よりチーム第一」の発想の中で係の仕事を充実させ、リノベーションを更に進めていく
2. 日常生活を大切にし、野球部で培ったものを周囲に広め影響力を持つ
3. 誰からも応援される野球部作り

II 本年度の取り組み（課題）

1. 明るく元気で滑舌の良い挨拶を励行し、良好な人間関係を自ら構築できる生徒を育てる【1-(1)】
 - ・ SNSを利用した部内係活動の情報共有【2-(3)】
 - ・ 生活習慣係の指示で朝の挨拶活動を行う【1-(3)】
 - ・ 親睦係の指示で部員の仲を深める行事を企画する
2. HRや行事など、学校生活の中でリーダーシップを発揮する【1-(3)】【2-(1)】【2-(3)】
 - ・ 各HR等での役職に就き、責任を持って活動する
 - ・ 周囲を巻き込む勢いで何事も先頭に立って行動する
3. 部室やトイレの清掃をこまめに行い、整理整頓を徹底する【1-(2)】【2-(3)】
 - ・ 環境係の指示で朝の敷地周りや敷地内のゴミ拾いを行う
 - ・ 部室・校舎美化係の指示で部室・トイレ清掃を行う
4. 野球技能の向上と各大会における県大会出場と上位進出【2-(3)】
 - ・ メンタル強化係の指示でトレーナーと連携し強化法を提案する
 - ・ 練習強化部門の各係の指示で技術の向上を図る
5. 健康を維持し、日常生活を大切にする【1-(2)】【2-(3)】
 - ・ 勉強教科係の指示で課題チェックや勉強法の提案を行う
 - ・ 生活係の指示で部員の食生活改善・体重増加を推進する

III 業務分担（省略）

IV グランドデザインに係る実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・ 明るく元気で滑舌の良い挨拶を励行し、良好な人間関係を自ら構築できる生徒を育てる	・ 生活習慣係の指示で朝の挨拶活動を行う ・ 常時挨拶を先頭に立って行う	・ SNSを利用した部内係活動の情報共有が行われているか報告を受ける。
視野の広さ	・ HRや行事など、学校生活の中でリーダーシップを発揮する	・ 各HR等での役職に就き、責任を持って活動する ・ 周囲を巻き込む勢いで何事も先頭に立って行動する	・ 各HRや行事での行動を実際に見たり、報告を受けたりして確認する。

サッカー部

I 本年度の目標

1. 心身ともにたくましい選手の育成
2. 自分たちの好きなサッカーを全力でエンジョイし、チーム内での繋がりを深める
3. 周囲から応援されるチーム作り

II 本年度の取り組み（課題）

- (1) 明るい挨拶を励行し、良好な人間関係を自ら構築できる生徒を育てる 【1-(1)】
- (2) HRや行事など、学校生活の中でリーダーシップを発揮する 【2-(3)】
- (3) 部室、器具庫、トイレの清掃をこまめに行い、整理整頓を徹底する 【1-(2)】
- (4) 静岡県総体、静岡県新人大会における県大会への出場 【2-(3)】

III 業務分担（省略）

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・明るい挨拶を励行し、良好な人間関係を自ら構築できる生徒を育てる	・立ち止まって、相手の目を見て挨拶ができているか、その都度評価する	・HR担任からの聞き取り（随時） ・大会後の振り返りシート（5月、10月、2月）
視野の広さ	・HRや行事など、学校生活の中でリーダーシップを発揮する	・与えられた仕事以外に活躍できたことを、1週間に1度、アトレータにて報告する	・HR担任からの聞き取り（随時） ・指導要録の記述確認（4月） ・アトレータの記述確認（随時）

男子テニス部

I 本年度の目標

1. 人間性の育成
2. 他のチームに目標とされるチーム作り

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

- (1) 「いつでも、どこでも、誰にでも、何度でも」進んで挨拶を行うことができる。【1-(1)】
- (2) クラスや校内の活動において、リーダーとして活躍することができる。【2-(3)】
- (3) 学業との両立を達成することができる。【4-(2)】
- (4) 全国高校総体、全国選抜高校テニス大会に出場し、上位に進出することができる。【2-(3)】

III 業務分担 (省略)

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	<ul style="list-style-type: none">・「いつでも、どこでも、誰にでも、何度でも」進んで挨拶を行うことができる。	<ul style="list-style-type: none">・校内や部活動の活動場所等において、自ら進んで挨拶を行う。	<ul style="list-style-type: none">・HR担任、教科担当からの聞き取り。・ミーティングでの意見交換。
視野の広さ	<ul style="list-style-type: none">・クラスや校内の活動において、リーダーとして活躍することができる。・学業との両立を達成する。	<ul style="list-style-type: none">・クラスでの行事活動や、委員会活動において、積極的な取り組みをする。・放課後や朝に学習時間を確保する。	<ul style="list-style-type: none">・HR担任、教科担当からの聞き取り。・独自に行っているアプリによる、生活記録データの確認。

女子テニス部

I 本年度の目標

- 「目標を明確にし、チームとして同じ意識を継続して持つこと」
「個人がチームに対して貢献できる視野の広さを持った生徒づくり」

II 本年度の取り組み（課題）

- (1) 目標を明確にして、日々の生活を含め自身の向上に努める 【1-(3)】【2-(3)】
- (2) HRや行事など、学校生活の中での活躍 【2-(1)】
- (3) 総体、新人戦での団体戦における全国大会への出場 【2-(3)】
- (4) 学習活動との両立 【4-(2)】
- (5) HPによる情報発信をし、生徒の活躍を広報する【3-(1)】

III 業務分担（省略）

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・HRや行事など、学校生活の中での活躍	・部活動以外の場（HR、授業、行事など）での生徒の活躍	・HR担任、教科担当からの聞き取り ・授業（HR）での生徒の様子を観察
視野の広さ	・目標を明確にして、日々の生活を含め自身の向上に努める ・学習活動との両立	・部活動中の雰囲気づくり（声出し、周りを見る力） ・練習メニューを理解するために、生徒同士相互に説明をし合う ・生活時間、学習時間を把握する	・BBKの提出シート等の記述 ・HR担任、教科担当からの聞き取り ・スタディーレコードの記録確認

男子ソフトテニス部

I 本年度の目標

1. 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切に、協調性を身に付ける
2. 目標や課題に向けて積極的に取り組み、継続した努力ができる態度を身に付ける
3. 自主的・自発的な活動を通じて学校生活全般に意欲的に過ごす姿勢を育てる

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

- (1) 生徒自ら挨拶をし、正しい言葉遣いの習慣化により、社会性や規範意識を向上させる【1-(1)】
- (2) 勝利至上主義に偏ることなく、協調性や生徒の主体性や個性を生かす運営を心がける【1-(3)】
- (3) 部の目標・自己の記録更新に挑戦し、地区大会の入賞及び県大会の出場以上を目指す【2-(3)】

III 業務分担（省略）

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・生徒自ら挨拶をし、正しい言葉遣いの習慣化により、社会性や規範意識を向上させる	・教諭との言葉遣い、礼儀を意識してできているか見つけたその都度評価する	・教科担当、担任等からの聞き取り ・日常生活に対する定期的なアンケート調査（学期ごと）
視野の広さ	・勝利至上主義に偏ることなく、協調性や生徒の主体性や個性を生かす運営を心がける	・準備や片付け、試合での審判等の役割を人任せにせず、全体を見て協力して行う ・部長など関係なく、誰もが率先して仲間へ注意やアドバイスができているか確認を行う	・学校生活や部活動での生活態度や部活動・学校内での自己の役割があるかを自己評価表に記入させる（学期ごと）

女子ソフトテニス部

I 本年度の目標

- 1 自己統制力を培う
- 2 周囲から応援されるチームの作成

II 本年度の取り組み（課題）

- 1 自らの行動や態度を反省しながら、より正しいと判断する方向に自らの意識や行動を高める。【1-(1)】
- 2 相手の気持ちを察して行動できる思いやりの心を持つ。【1-(3)】
- 3 場、時、状況に応じた行動や態度をとり、自らの欲求を一時的に先送りできる力を持つ。【2-(3)】
- 4 県総体、県新人体育大会における全国大会への出場。【2-(3)】

III 業務分担（省略）

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	自らの行動や態度を反省しながら、より正しいと判断する方向に自らの意識や行動を高める。	生徒間での練習の作成	部活動中の観察 部活動ノート
視野の広さ	場、時、状況に応じた行動や態度をとり、相手の気持ちを察して行動できる思いやりの心を持つ。	部活動中の雰囲気作り 部活動以外での挨拶や行動	授業、HR での取り組み

体操競技部

I 本年度の目標

- 1 自分で立てた目標・課題を自分で解決できる生徒の育成
- 2 気付いたらすぐ行動する集団づくり

II 本年度の取り組み（課題）

- 1 自分ができていることを精一杯行える生徒の育成【1-(1)】
- 2 目標に向かい自分自身で組み立てて取り組む【2-(3)】
- 3 静岡県総体団体2位、東海総体団体・個人出場、新人戦優勝【2-(3)】
- 4 ホームページの更新【3-(1)】

III 業務分担（省略）

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	1つ1つの練習を自ら考えて取り組む	・見取り稽古を大切にする ・具体的な指示よりも発問的な投げかけを多く取り入れる	・観察（随時） ・ミーティングによる振り返り（随時）
視野の広さ	日々の準備・片付け 人間学ミーティング	・人では必要なところに自ら動く ・指示されるよりも早く気付けるように周囲に注意する ・著名な人物の文章を読み、意見交換する	・観察（随時） ・意見交換中の観察

男子バスケットボール部

I 本年度の目標

1. 技術と体力の向上とメンタルの強化
2. 文武両道
3. 周囲から応援されるチーム作り

II 本年度の取り組み（課題）

1. 挨拶等礼儀、マナーを守ることのできる選手の育成【1-(1)】
2. 1つ1つの練習メニューの重要性を自ら考えて取り組む【2-(3)】
3. 部室、体育館等の清掃、整理整頓【1-(2)】
4. 静岡県総体県大会ベスト16、新人戦県ベスト8【2-(3)】

III 業務分担（省略）

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	1つ1つの練習メニューの重要性を自ら考えて取り組む	・練習の中で選手同士の声かけを数多く行う	・観察（随時） ・部活ノートの記録（随時）
視野の広さ	学校生活の中での凡事を徹底して行う	・授業、学校行事、清掃等積極的に取り組む	・スタディーレコード（随時） ・HR 担任からの聞き取り（随時）

女子バスケットボール部

I 本年度の目標

『“女子バスケ”のイメージを変える』

指導者に怯えず、ミスを恐れず、お互いに意見を言い合い、励まし合いながら、選手それぞれの良いところを活かして勝ちに行く

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

- (1) 積極性と発信力の育成【1－(3)】【2－(3)】
- (2) 部活動を通じ、様々な分野の知識に触れる【2－(2)】
- (3) 「自分に負けない力」と「気づく力」の育成【2－(3)】

III 業務分担（省略）

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・積極性と発信力の育成	・定期的にミーティングを開催 ・練習中に意見を交わす場の設定 （メニュー作成やプレイの確認） ・探究的活動への挑戦	・部活動ポートフォリオ ・練習での様子を観察 ・デザインチャレンジに部活動として参加する
視野の広さ	・部活動を通じ、様々な分野の知識に触れる	・栄養講習の受講 ・ケガ防止講習の受講 ・英語の勉強会 ・審判講習の受講 ・探究的活動への挑戦	・部活動ポートフォリオ ・感想用紙の提出 ・英検 ・デザインチャレンジに部活動として参加する

男子バレーボール部

I 本年度の目標

1. 常に感謝の気持ち、何事にも明るく前向きにチャレンジできるチームになる
2. 広い視野を持ち、その場の状況に合わせた行動のできる選手になる
3. 学校生活の様々な場面でリーダーシップを発揮する
4. 部活動と学習活動を両立(文武両道)する

II 本年度の重点目標(課題)と具体的方策

- (1) 挨拶・清掃の励行、物品管理の徹底、公共交通機関利用時のマナー向上(1-(1)、(3))
- (2) 授業や学校行事、生徒会活動に対し、周囲を巻き込んで積極的に参加する(2-(1))
- (3) 地域貢献活動を通して人間的に成長する(1-(3)、2-(2))
- (4) 定期的にミーティングや面談を実施し、取り組み状況を確認する(2-(3)、4-(2))

III 業務分担 (省略)

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・授業や学校行事、生徒会活動に対し、周囲を巻き込んで積極的に参加する	・委員会活動, 教科係、各行事の担当係などに積極的に参加する	・HR担任との情報共有(随時) ・指導要録の確認(年度末)
視野の広さ	・挨拶・清掃の励行、物品管理の徹底、公共交通機関利用時のマナー向上	・指導者, 父母だけでなく、誰に対しても気持ちの良い挨拶をする ・物品ごとに担当者を決め管理する ・電車やバスを利用する際に常に周囲に気を配り、一般乗客に迷惑がかからないよう気を配る。また積極的に席を譲るなどし人権意識を向上させる	・行動観察(随時) ・定期的な物品管理報告(隔月) ・HR担任や他の部活動顧問との情報交換(随時)

女子バレーボール部

I 本年度の目標

1. 限られた練習時間を有効かつ集中して取り組める雰囲気作り。
2. 周囲から応援されるチーム作り。
3. 自分達で課題を見つけ、克服するためのメニュー作りが出来るようになる。

II 本年度の取り組み（課題）

- (1) 準備・片付け、メニューの切り替え等の行動を素早くし、活動時間を増やす意識を育成する。
【2-(3)】
- (2) 明るい挨拶を励行し、良好な人間関係を自ら構築できる生徒を育てる。【1-(2)】
- (3) 練習試合のデータを分析し、自分達が身につけるべき技術・能力を決め、そのための方策を考える。【2-(3)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい挨拶を励行し、良好な人間関係を自ら構築できる生徒を育てる ・練習メニューを自分達で構成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち止まって、相手の目を見て挨拶ができているか、その都度評価する ・ミーティングを定期的に行い、課題と解決のための方策をチームで共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動ノートの確認（週毎） ・ミーティングの観察、助言
視野の広さ	<ul style="list-style-type: none"> ・準備・片付け、メニューの切り替え等の行動を素早くし、活動時間を増やす意識を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・集合時間を守れているか確認する ・与えられたメニューを時間通りこなせるかを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・部長からの聞き取り ・部活動ノートの確認（週毎）

卓球部

I 本年度の目標

1. 互いを認め尊重し合う意識を醸成し、チームとしての団結力を高める
2. 練習環境を整え、日々の練習を大切に積み重ねる

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

- (1) 礼儀を重んじ挨拶を徹底するなど、集団として信頼し合える人間関係を作る 【1-(3)】
- (2) 卓球場や部室などの清掃を行い、ゴミの分別も徹底する 【1-(2)】
- (3) 市民大会など各種大会の運営や進行の補助を行う 【2-(3)】
- (4) 静岡県総体、静岡県新人大会での県大会への出場 【2-(3)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・礼儀を重んじ挨拶を徹底するなど、集団として信頼し合える人間関係を作る	・練習中の態度や、試合中の礼儀が正しいものか、その都度評価する	・練習中や大会中の観察、生徒からの聞き取り
視野の広さ	・市民大会など各種大会の運営や進行の補助を行う	・静岡市卓球協会主催の大会の準備や片付け、記録の作成を行う	・大会終了後に主催者より講評を頂く ・練習試合の際に他校の顧問からも講評を頂く

剣道部

I 本年度の目標

各種大会で優勝を目指す。

剣道をとおして人間形成を図り、愛され信頼される人・部になる。

- (一、 謙虚で素直である。)
- (二、 目が輝いていて笑顔が似合う。)
- (三、 背筋がのびて礼儀正しい。)
- (四、 気配りができ仲間への思いやりがある。)
- (五、 積極的で失敗を恐れず、挑戦する。)
- (六、 粘り強くあきらめない力をもっている。)
- (七、 生活にけじめがある。)
- (八、 健康的な生活をしている。)
- (九、 感謝の心がある。)
- (十、 なぜかをよく考え研究熱心である。)
- (十一、 自ら評価できる。)

II 本年度の取り組み（課題）

- 1 人間性を高める。【1－(1)】【1－(2)】【1－(3)】
 - (1) 清々しい挨拶が率先してできるようにする。
 - (2) 率先して清掃ができるようにする。
 - (3) 学校に貢献する意識を持たせる。
 - (4) 部員のコミュニケーション力を向上させる。
- 2 東海大会以上の出場を目標に掲げ、稽古の工夫・継続を実践する。【2－(3)】【4－(2)】
 - (1) 継続した稽古で毎日達成感を味わいながら、実践力を高める。
 - (2) 個人や団体の課題を発見し、課題克服に向けた稽古ができるようにする。
 - (3) 学習との両立ができるよう時間の管理ができるようにする。

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・学校に貢献する意識を持たせる。	・授業や行事等で貢献したいと思わせる指導をする。	・各担任へ学期末毎に聞き取りを行う。
視野の広さ	・部員のコミュニケーション力を向上させる。	・合宿や遠征等で部員同士だけでなく他校の選手や地域の大人や子どもとも接する機会を設ける。	・部員と定期的に面談を実施し確認する。

弓道部

I 本年度の目標

- 1 弓道を通して、『自立』（自分の力を発揮して人の役に立つことが）できる人間になる
- 2 『文武不岐』を忘れず高校生活を送ることにより、豊かな人生を送る基礎を身に付ける

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

- (1) 時・所・場面に応じた挨拶、身だしなみ、正しい言葉遣いをする【1-(1)】
- (2) 弓道場および校内の美化に努めるとともに、正しい生活リズムを確立する【1-(2)】
- (3) 大会や審査会において補助員を行うことにより、他者に奉仕する態度を身につける【2-(2)】
- (4) 県大会において、入賞する【2-(3)】

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・時・所・場面に応じた挨拶、身だしなみ、正しい言葉遣いをする	・部活の開始・終了挨拶のときに話題に出し、生徒自身が気付き考える機会を与える	・生徒との会話、担任や授業担当の教員との会話で確認する
視野の広さ	・大会や審査会において補助員を行うことにより、他者に奉仕する態度を身につける	・中部地区大会や市の大会において出場者が困らないように補助員の責務を果たす	・与えられた仕事を全うすること、気付き・考えて行動できるか確認する

バドミントン部

I 本年度の目標

- 1 バドミントンを通して、自立した人間性の育成。
- 2 個人、団体とも、県大会出場、県大会 1 回戦突破

II 本年度の取り組み

- (1)バドミントンに必要とされる技術・体力の獲得のため、課題を持ちながら自ら考え、練習に取り組む姿勢を身につける。【2-(3)】
- (2)全体としてスムーズな練習ができるよう個々が周りの流れを考え行動する力を身につける。【1-(3)】
- (3)自分のプレー以外の場面で全体、チームのために動くことができる。【2-(3)】
- (4)授業、家庭学習、部活のバランスが上手に取れるよう、スタディレコード等を活用し習慣づけに心がける。【4-(2)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的対策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・バドミントンに必要とされる技術・体力の獲得のため、課題を持ちながら自ら考え、練習に積極的に取り組む姿勢を身につける。	・部活動初めに行う基礎運動から、何のために行う運動なのかを確認しながら行う。また、実際の試合において、どの場面で生かされるのかを確認する。	・きちんとした動きができているかどうかを確認する。 ・試合での場면을練習でシュミレーションできたかどうかを確認する。
視野の広さ	・全体としてスムーズな練習ができるよう個々が周りの流れを考え行動する力を身につける。「今自分がこの場面でどう行動すべきか」	・時間に対する意識を向上させるため、タイマーを用いた活動を取り入れる。 ・効率よく練習コートを使い合う工夫をする。限られた練習時間の中で無駄を減らす。	・時間を守った行動ができたか ・効率の良いコート割りを行うことができたか。

新聞部

I 本年度の目標

新聞部の活動を通して自立した人間性を育成する。

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

- (1) 学校行事、HR 活動、及び生徒会活動への積極的な参加【2-(1)】
- (2) 部活動を通じた人間性、自主性・社会性 及び 個性・能力の伸長【2-(3)】
- (3) 市高新聞、ホームページによる積極的な情報発信【3-(1)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・部員発案の新企画に挑戦させ、自主性・社会性、コミュニケーション能力を涵養する	・部活動中に日頃の生活態度に注意する。新聞部として正しい言葉遣いを心がける	・顧問として、部員に注目していく、担任からの聞き取り
視野の広さ	・日々の活動を市高新聞、ホームページで情報発信する活動の拡充	・新聞に掲載する文化祭、体育大会や芸術鑑賞会など積極的に取り組む	・新聞記事作成において適宜できているか

吹奏楽部

I 本年度の目標

- 1 自主性の伝統を活かした練習・演奏会の企画による主体性の育成
- 2 学校行事や地域に貢献する演奏及び交流活動による視野の拡大
- 3 チームのために貢献する係活動による自己有用感の育成

II 本年度の取り組み（課題）

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| (1) 生徒を中心にした自主的練習・演奏企画によるリーダーシップの育成 | 【2-(3)】 |
| (2) 学校行事及び地域における演奏（慰問演奏など）による貢献活動の充実 | 【2-(1)(2)】 |
| (3) 一人一役の係活動による自他を尊重する心と自己有用感の育成 | 【1-(3)】 |
| (4) コンクール・アンサンブルコンテストにおける県大会への出場 | 【2-(3)】 |

III 業務分担（省略）

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	生徒を中心にした自主的練習・演奏企画によるリーダーシップの育成	生徒指揮者・パートリーダーを中心とした自主的練習 生徒を中心にした演奏会の企画（司会・進行・選曲など）	パートリーダー会における発言、振り返り 日常の練習の様子の観察
視野の広さ	学校行事及び地域における演奏（慰問演奏など）による貢献活動の充実 コンクール・アンサンブルコンテストにおける県大会への出場	慰問演奏、刑務所演奏など地域における演奏の積極的実施 コンクール・アンサンブルコンテストへの出場による他校との交流	演奏会・大会ごとに反省（振り返り）を実施

放送部

I 本年度の目標

マイクを通して学校行事や大会、ボランティア活動に参加することで、生徒の3つの資質・能力（自己有用感、視野の広さ、主体性）を自ら育めるよう支援する。

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

- (1) 部活動を通じた人間性、自主性、社会性 及び 人権意識の向上【2-(3)】
- (2) 学校行事、HR 活動、及び 生徒会活動への積極的な参加【2-(1)】

III グランドデザインに係る実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・部活動を通じた人間性、自主性、社会性 及び 人権意識の向上	・自ら社会問題に関する資料を読み、顧問の助言を受けながらアナウンス原稿を作成する	・アナウンス原稿を一人ひとり評価する
視野の広さ	・学校行事、HR 活動 及び 生徒会活動への積極的な参加を促す	・放送部の出番がある文化祭、体育大会や芸術鑑賞会などで積極的にアナウンスに取り組む	・積極的に参加意志を表明し、熱心に活動できているか

応援部

I 本年度の目標

1. 生徒を引っ張り、大きな声で校歌を歌うことができる学校にする。
2. 日頃から、他の生徒の見本となれるよう自らの振る舞いを改める。

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

1. 日々の生活から、他の生徒や地域の人に見られていることを意識させ、己のあり方、振る舞い方を考えさせる。【1-(2)】
2. 部活内で発言の機会を与え、主体性を高めさせる。【2-(3)】
3. 他校との合同練習、合同発表会へ参加し、他校の良いところを学ぶとともに、自分達の活動を見直し、改善させる。【1-(3)】

III 業務分担

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	生徒間で意見を出し合い、部活動の運営をすると共に、自他の良いところ、悪いところを指摘し改善していく。	・練習後、反省会を実施する。 ・生徒が練習日程を決定する。 ・目標を立て、練習メニューを生徒が考え実行する。	・反省会内容の点検 ・各自の感想の聞き取り ・各自の、または部活の目標の達成状況の確認
視野の広さ	他校の良いところを学ぶとともに、自分達の活動を見直し、改善させる。また、お世話になった人への感謝の気持ちを持つ。	・他校との合同練習 ・合同発表会への参加。 ・イベントの運営に携わる。	・イベント後の感想、反省の聞き取り ・イベント前後における練習への取り組みの変化

写真部

I 本年度の目標

写真部の活動を通して自立した人間性を育成する。

II. 本年度の重点目標(課題)と具体的方策

- (1) 文化祭での展示発表を主体的に行う。【2-(1)】
- (2) 写真コンクールに出品し、撮影技術の向上に役立たせる。【2-(3)】
- (3) 写真教室に参加し、専門家による技術指導を受け、専門知識を身につける。【2-(3)】
- (4) 写真教室の補助員を務めることにより、運営に貢献する態度を身につける。【2-(2)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・文化祭での展示発表を主体的に行う	・展示発表の計画、運営、生徒同士の作品の評価、文化祭後の振り返り	・作品の評価 ・文化祭後の振り返りシート
視野の広さ	・写真教室の補助員を務めることにより、運営に貢献する態度を身につける ・写真教室参加により撮影技術の向上に努める	・6月、11月、2月に行われる写真コンクールへの出品、写真教室への参加、補助員業務	・写真教室の振り返りシート ・コンクールの結果

マンドリン部

I 本年度の目標

1. 技術を磨き、音楽解釈を考えることを通じてより良い音楽づくりを目指す。
2. 文武両道を目指す。

II 本年度の取り組み（課題）

1. 一人一役を担い、部員が主体的に部活動を運営していく。【2-3】
2. 様々な演奏や幅広い音楽に数多く触れ、より良い音楽のイメージを持てるようにする。
3. 様々な場所に演奏に出掛け、より多くの人に自分たちの音楽を聴いてもらう。【2-2】
4. 自己の時間の遣い方を考え、学習と部活動の両立を目差す。【1-2】

III 業務分担（省略）

IV グランドデザインに係る実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	一人一役を担い、部員が主体的に部活動を運営していく。 自己の時間の遣い方を考え、学習と部活動の両立を目差す。	・パートリーダー会 ・日常の係業務 ・テスト前の学習会	・パートリーダー会報告の点検 ・定期試験の成績
視野の広さ	様々な演奏や幅広い音楽に数多く触れ、より良い音楽のイメージを持つ。	・各種コンクールへの参加 ・演奏会を聴きに行く	・演奏する音楽内容の日々の変化による

美術部

I 本年度の目標

絵画制作を通してコンクールや学校行事に参加することで、部員の3つの資質・能力（自己有用感、視野の広さ、主体性）を自ら育めるよう支援する。

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

- (1) 学校行事、HR活動、及び生徒会活動への積極的な参加【2-(1)】
- (2) 部活動を通じた人間性、自主性・社会性 及び 個性・能力の伸長【2-(3)】
- (3) ホームページによる積極的な情報発信【3-(1)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・部員発案の新企画に挑戦させ、自主性・社会性、コミュニケーション能力を涵養する	・市高祭で部として初のチャリティー物販に取り組み、全学年の部員で協力して行う。	・制作活動の観察 ・行事後の振り返りシート（6月、11月、2月）
視野の広さ	・日々の活動を本校ホームページで情報発信する活動の拡充 ・美術館見学活動の拡充	・全学年の部員が記事の作成を経験する。美術館見学以外の活動も部員が記事を作成する。	・提出作品

書道部

I 本年度の目標

- 1 積極的に作品制作に取り組む
- 2 発表の場を積極的に求める

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

- | | |
|---------------------------------|---------|
| (1) 活動環境を整えるため、部室の清掃を促す。 | 1 - (2) |
| (2) 文化祭へ積極的に参加する。 | 2 - (1) |
| (3) 個々の技術の向上を目指し、県書道展等へ作品を出展する。 | 2 - (3) |

III 業務分担（省略）

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・文化祭への積極的参加	・多くの書籍にあたり、手本作品を自ら探し、決定する。 ・個人作品制作と、大型作品（書道パフォーマンス）を作成する。	作品を相互批評する。
視野の広さ	・県書道展への参加	・全員の参加によって技量の向上を図る。 ・校内での作品展示を通してさらに作品の質を上げる。書道展で展示した作品を校内でも展示する。	多くの人の目に触れることで自分の書の力量を確認。

演劇部

I 本年度の目標

年三回の公演を通し、生徒の自己有用感・視野の広さ・主体性を育む。

II 本年度の取り組み

(1) キャストとスタッフ、それぞれの役割に責任感を持ち、主体的に取り組む。【1－〈3〉】

(2) 市高祭ステージ部門で心に残る発表を行う【2－(1)】

(3) 県大会への出場を目指し、各種研修会に積極的に参加して演技力や裏方の技術力を磨く【2－(3)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・キャストとスタッフ、それぞれ部署の役割に責任感を持ち、主体的に取り組む。	・部活動中、それぞれの部署で話し合い、何をするかを考え、明確化し、遂行する。	・担任からの聞き取り ・帰りの会で部署からの報告に対する口頭評価
視野の広さ	・市高祭ステージ部門で観客の心に残る発表を行う。	・登場人物の気持ちを考えながら演技することで他者の気持ちを理解する。 ・観客の声を聞き、自分たちの舞台を客観的に振り返る。	・演技練習中での相互評価 ・公演後のアンケート

茶道部

I 本年度の目標

「茶禅一味」という言葉が表すように、茶道は「自分らしい生き方」そのものを学ぶものである。茶道部は、茶道の稽古を通して、生徒の3つの資質・能力（自己有用感、視野の広さ、主体性）を自ら育むことができるように支援する。

II 本年度の取り組み（課題）

(1) 文化祭でお茶を点て、多くの人に茶道の楽しさや奥深さを伝えることができるようにする。

【1-(1)】 【2-(3)】

(2) 茶道を通して日本の伝統文化に触れ、視野を広めることができるようにする。

【2-(3)】

(3) 茶道と日常生活が結びついていることを理解し、行動できるようにする。

【1-(1)】 【1-(2)】 【2-(3)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・茶道と日常生活が結びついていることを理解し、行動できるようにする。	・茶道の点前の手順を習うだけでなく、ひとつひとつの所作に意味があることを理解させる。また、日常生活を送るうえでその所作が役に立つことを実感し、行動できるようにする。	・活動の様子の観察（随時） ・部員からの聞き取り（随時） ・HR担任からの聞き取り（随時）
視野の広さ	・茶道を通して日本の伝統文化に触れ、視野を広めることができるようにする。	・茶道は総合芸術である。掛軸の禅語の意味や茶道具などについて学ぶだけでなく、茶道の歴史についても学ぶ機会を持つ。 ・茶道を日本文化のひとつとして、国内外の人たちに伝える（情報発信する）ことができるようにする。	・活動の様子の観察（随時） ・部員からの聞き取り（随時） ・HR担任からの聞き取り（随時）

料理研究部

I 本年度の目標

学校行事や料理コンクールに参加することで調理の技術を磨き、自己有用感、視野の広さ、主体性を自ら育めるよう支援する。

II. 本年度の取り組み

- (1) 文化祭での展示発表を主体的に行う。【2-(1)】
- (2) 文化祭でのチャリティー活動。【2-(2)】
- (3) 料理コンクールに参加【2-(3)】
- (4) ホームページによる積極的な情報発信【3-(1)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・文化祭展での展示発表を主体的に行う	・展示発表の計画、運営文化祭後の振り返り	・文化祭後の振り返りシート
視野の広さ	・文化祭でのチャリティー活動。	・「国境なき医師団」への寄付(2015年より継続) 文化祭時に「国境なき医師団」の活動についての展示を行う。	・文化祭後の振り返りシート

デジタル研究部

I 本年度の目標

1. 情報技術の向上と文化祭展示の成功
2. 情報に関する検定への積極的参加

II 本年度の取り組み（課題）

- (1) プログラミング言語を学んでゲーム制作に必要な情報処理技術を磨く【2-(3)】
- (2) 情報に関する検定への参加【2-(3)】
- (3) 仲間とともにより良いものを創り上げていくこと喜びと素晴らしさを感じる【1-(3)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・プログラミング言語を学んでゲーム制作に必要な情報処理技術を磨く	・情報に関する専門書やインターネットを活用してプログラミング言語を学ぶ	・ゲーム制作の進捗状況（随時）
視野の広さ	・情報に関する検定の受験	・部員全員が検定を1回以上受ける	・検定に合格

科学部

I 本年度の目標

- 1 自主的に活動する姿勢を育てる
- 2 SSH の活動を踏まえ、科学の楽しさを伝えるサイエンスコミュニケーション力の育成
- 3 研究活動の成果として、各種の科学コンクールで入賞する

II 本年度の重点目標（課題）と具体的方策

- (1) 各イベントへの出展内容を自主的に検討し、予備実験まで行えるようにする【2-(3)】
- (2) 科学の祭典の高校生運営委員を排出し、他校との交流を企画する【6-(4)】
- (3) 各種の科学コンクールに応募し、賞を取る【7-(2)】

III 業務分担 (省略)

IV 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策（IIから転載）	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	・各イベントへの出展内容を自主的に検討し、予備実験まで行えるようにする	・ネットや過去の実験書や部員とのディスカッションを通じて、自主的に内容を検討する	・実際に行っている予備実験の内容を評価する
視野の広さ	・科学の祭典の高校生運営委員を排出し、他校との交流を企画する	・高校生運営委員の仕事を通じて、他校との交流を深め、また、リーダーの役割を学ぶ	・高校生運営委員会や科学の祭典当日の活動を評価する

囲碁将棋同好会

I 本年度の目標

1. 堅実な活動
2. 棋力の向上
3. 大会への参加
4. 機材の整理

II 本年度の取り組み（課題）

- (1) 週2日の活動日には、特段の事情ない限り参加する。【2-(3)】
- (2) 互いの対局を通して、棋力の向上を図る。【2-(3)】
- (3) 使用教室、用具を整理することを通して、規範意識をもたせる。【1-(3)】

III 主体性・視野の広さを育てる実行計画

	具体的方策（IIから転載）	活動の具体	具体的な評価方法
主体性	週二日の活動日には、参加する。	活動に参加する	出欠をとる
視野の広さ	互いの対局を通して棋力の向上を図る	活動日に対局を行う。互いに講評することにより棋力の向上を図る。	対戦記録を残す